



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日

上場会社名 V Tホールディングス株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 7593 URL http://www.vt-holdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 一穂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 山内 一郎 TEL 052-203-9500
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	97,991	33.4	3,187	4.8	3,382	11.0	1,771	4.8
29年3月期第2四半期	73,469	1.9	3,042	△19.2	3,046	△18.6	1,690	△10.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,645百万円 (107.8%) 29年3月期第2四半期 1,273百万円 (△33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.06	—
29年3月期第2四半期	14.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	129,655	39,398	27.9	307.98
29年3月期	121,493	37,642	28.8	297.33

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 36,235百万円 29年3月期 34,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	8.00	—	9.00	17.00
30年3月期	—	9.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,000	15.6	8,500	12.0	8,500	7.1	4,800	8.5	40.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	119,381,034株	29年3月期	119,381,034株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,726,578株	29年3月期	1,726,578株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	117,654,456株	29年3月期2Q	117,654,456株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内の新車販売市場は新型車を中心に好調を維持したほか、軽自動車は燃費不正問題の影響で落ち込んでいた反動増により、11カ月連続で前年実績を上回っており、当第2四半期連結累計期間における国内の新車販売台数は前年同期比11.8%のプラスと好調に推移いたしました。

当社グループの中核事業であります自動車販売関連事業の当第2四半期連結累計期間における状況は、日産自動車の軽自動車2車種の販売停止の影響が解消したことと、昨年5月に子会社化した英国のWESSEX GARAGES HOLDINGS LIMITED及び昨年10月に子会社化したスペインのMASTER AUTOMOCION, S.L.傘下の事業会社12社の販売実績が連結対象に加わったこと等により、新車、中古車を合わせた自動車販売台数は47,226台と前年同期に比べ10,473台(28.5%)増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、連結売上高は979億91百万円(前年同期比33.4%増)、営業利益は31億87百万円(前年同期比4.8%増)、経常利益は33億82百万円(前年同期比11.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億71百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

セグメントの業績概況

[自動車販売関連事業]

新車部門では、国内におけるホンダ車の販売台数は2,609台(前年同期比1.8%減)、日産車の販売台数は新型車効果と昨年度の軽自動車2車種の販売停止の影響が解消したこと等のプラス材料が新たに発覚した無資格検査問題により若干相殺され6,852台(前年同期比24.0%増)となり、海外を含む当社グループ全体の販売台数は19,117台(前年同期比42.7%増)と台数ベースで前年を大きく上回り、収益的にも増収増益を確保いたしました。

中古車部門では、海外への輸出台数は3,370台(前年同期比14.6%増)、当社グループ全体の中古車販売台数は28,109台(前年同期比20.3%増)と台数ベースでは前年を大きく上回りましたが、輸出市況や国内市況の低迷等の影響をカバーできず、増収ながらも若干の減益となりました。

サービス部門では、既存会社、新規連結子会社ともに点検・車検、修理、手数料収入等の受注拡大に注力し、増収増益となりました。

レンタカー部門では、前連結会計年度に新規出店した店舗と既存店の稼動が堅調に推移し増収となりましたが、新規出店に伴うレンタカー車両の増車やCS向上のための積極的なレンタカー車両の代替に伴う車両の減価償却費の増加のため、増収ながらも若干の減益となりました。

以上の結果、自動車販売関連事業の売上高は928億88百万円(前年同期比30.7%増)、営業利益は28億92百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

[住宅関連事業]

当社グループでは分譲マンション事業を愛知県・岐阜県下で展開し、戸建分譲住宅事業を東京・大阪・名古屋の店舗にて展開しております。

分譲マンション事業では、マーケティングを徹底し、物件の立地選定や適正な販売価格での発売に注力したことから、完工物件の受注、引渡しとも非常に好調に推移いたしました。

戸建分譲住宅事業では、地域的な好不調は若干有るものの、全社的には好調に推移し、また、これまでのグループ会社からの店舗受注ノウハウを活かし、グループ外部からの商業施設の受注拡大に努めました。

以上の結果、住宅関連事業の売上高は50億7百万円(前年同期比115.3%増)、営業利益は5億8百万円(前年同期比437.5%増)と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,296億55百万円となり、前連結会計年度末1,214億93百万円と比較し81億61百万円増加いたしました。流動資産は597億93百万円となり、50億90百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金(20億85百万円)、商品(15億22百万円)、受取手形及び売掛金(14億14百万円)等が増加したことによるものであります。固定資産は698億61百万円となり、30億70百万円増加いたしました。これは主に機械装置及び運搬具(11億41百万円)、建物及び構築物(10億3百万円)等が増加したことによるものであります。

負債合計は902億56百万円となり、前連結会計年度末838億51百万円と比較し64億5百万円増加いたしました。流動負債は680億31百万円となり、59億39百万円増加いたしました。これは主に短期借入金(41億51百万円)等が増加したことによるものであります。固定負債は222億24百万円となり、4億65百万円増加いたしました。これは主に長期借入金(2億21百万円)の増加等によるものであります。

純資産合計は393億98百万円となり、前連結会計年度末376億42百万円と比較し17億56百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期 通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月11日付「決算短信」から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,490	8,575
受取手形及び売掛金	6,010	7,425
商品及び製品	23,933	25,455
仕掛品	2,687	2,961
原材料及び貯蔵品	72	71
その他	15,582	15,368
貸倒引当金	△74	△64
流動資産合計	54,702	59,793
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,861	26,266
減価償却累計額	△13,693	△14,094
建物及び構築物(純額)	11,168	12,171
機械装置及び運搬具	6,307	7,758
減価償却累計額	△2,495	△2,805
機械装置及び運搬具(純額)	3,812	4,953
土地	20,868	21,265
その他	12,686	13,496
減価償却累計額	△5,162	△5,411
その他(純額)	7,524	8,085
有形固定資産合計	43,373	46,475
無形固定資産		
のれん	13,324	12,915
その他	616	596
無形固定資産合計	13,940	13,511
投資その他の資産		
投資有価証券	5,892	6,103
その他	4,499	4,683
貸倒引当金	△914	△912
投資その他の資産合計	9,477	9,874
固定資産合計	66,791	69,861
資産合計	121,493	129,655

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,646	23,526
短期借入金	16,311	20,462
リース債務	12,670	13,383
未払法人税等	746	1,133
賞与引当金	967	988
その他	7,750	8,536
流動負債合計	62,091	68,031
固定負債		
社債	287	280
長期借入金	12,391	12,613
役員退職慰労引当金	748	771
退職給付に係る負債	777	800
資産除去債務	380	390
その他	7,175	7,369
固定負債合計	21,759	22,224
負債合計	83,851	90,256
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,297	4,297
資本剰余金	2,832	2,832
利益剰余金	28,038	28,751
自己株式	△98	△98
株主資本合計	35,069	35,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	430	545
為替換算調整勘定	△517	△92
その他の包括利益累計額合計	△87	452
新株予約権	137	152
非支配株主持分	2,522	3,011
純資産合計	37,642	39,398
負債純資産合計	121,493	129,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	73,469	97,991
売上原価	59,482	81,653
売上総利益	13,986	16,338
販売費及び一般管理費	10,944	13,151
営業利益	3,042	3,187
営業外収益		
受取賃貸料	36	35
持分法による投資利益	112	83
助成金収入	166	56
為替差益	—	123
その他	103	134
営業外収益合計	419	434
営業外費用		
支払利息	157	175
為替差損	189	—
その他	67	62
営業外費用合計	414	238
経常利益	3,046	3,382
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
その他	—	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	12	75
固定資産撤去費用	19	50
投資有価証券評価損	9	—
その他	—	0
特別損失合計	41	129
税金等調整前四半期純利益	3,007	3,254
法人税、住民税及び事業税	988	1,063
法人税等調整額	266	96
法人税等合計	1,255	1,160
四半期純利益	1,752	2,093
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	321
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,690	1,771

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,752	2,093
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	120
為替換算調整勘定	△514	427
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	3
その他の包括利益合計	△479	551
四半期包括利益	1,273	2,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,207	2,311
非支配株主に係る四半期包括利益	65	333

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,007	3,254
減価償却費	2,058	2,568
のれん償却額	519	572
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△15
賞与引当金の増減額(△は減少)	38	20
支払利息	157	175
固定資産除却損	12	75
投資有価証券評価損益(△は益)	9	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,333	△1,183
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,288	49
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,549	△1,232
その他	△934	1,279
小計	4,943	5,565
利息及び配当金の受取額	89	100
利息の支払額	△157	△176
法人税等の支払額	△1,644	△1,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,229	4,339
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,295	△5,001
有形固定資産の売却による収入	822	1,337
投資有価証券の取得による支出	△16	△3
投資有価証券の売却による収入	8	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△2,969	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	202
貸付けによる支出	△685	△51
貸付金の回収による収入	32	51
事業譲受による支出	△1,075	—
その他	△38	△88
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,217	△3,552
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,545	4,804
長期借入れによる収入	6,639	2,595
長期借入金の返済による支出	△1,839	△3,191
配当金の支払額	△941	△1,058
リース債務の返済による支出	△1,530	△1,815
その他	△185	△64
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,688	1,270
現金及び現金同等物に係る換算差額	47	28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	747	2,085
現金及び現金同等物の期首残高	7,454	6,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,202	8,585

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車販売 関連事業	住宅 関連事業				
売上高						
外部顧客への売上高	71,072	2,325	70	73,469	—	73,469
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	580	388	1,003	△1,003	—
計	71,107	2,906	458	74,473	△1,003	73,469
セグメント利益又は損失(△)	3,205	94	△212	3,088	△45	3,042

(注) 1 その他は、グループ全社管理部門等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車販売 関連事業	住宅 関連事業				
売上高						
外部顧客への売上高	92,888	5,007	96	97,991	—	97,991
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	670	880	1,582	△1,582	—
計	92,920	5,677	976	99,574	△1,582	97,991
セグメント利益又は損失(△)	2,892	508	440	3,841	△654	3,187

(注) 1 その他は、グループ全社管理部門等であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、すべてセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。